

調達要求番号：07-1-1372-0002-0002-00

一 般 仕 様 書

海 上 自 衛 隊
沖 縄 基 地 隊

工 事 名 称：補給科倉庫雨樋その他補修

工 事 場 所：沖縄基地隊 補給科倉庫

履 行 期 限：令和7年11月28日

作 成 年 月 日：令和7年 6月10日

作 成 担 当 部 隊：沖縄基地隊 管理科

1. 総 則

1. 1 適用範囲

本工事は、工事名称に記載する事項について適用する。

1. 2 工事目的

施設を適切に管理するため、本工事により営繕し、機能の維持保全を図ることを目的とする。

1. 3 工事概要

別添「工事概要表」のとおり。

1. 4 施工基準

本工事は、この一般仕様書、特記仕様書、図面並びに監督官の指示に従い施工するものとし、特記のないものは、国土交通省制定の最新版各種工事標準仕様書及び関係諸法規に準拠し、施工するものとする。

1. 5 関連文書

国土交通省大臣官房技術調査課監修最新版の各種工事標準仕様書及び各種工事積算

防衛省装備施設本部制定各種工事共通仕様書

関係諸法規

2. 工事に関する要求

2. 1 材料

本工事に使用する材料等は、日本産業規格（JIS）の規格品を使用し、規格のないものは、当該工事場所（以下、設計図書という。）に定める品質及び性能を有することを証明する資料を監督官に提出し、承認を受け使用するものとする。

a) 本工事に使用する材料等は、仮設用材料以外はすべて新品とし、監督官の検査を受け合格したものを使用するものとする。なお、使用する材料については納品書、又はこれに類するものを提出するものとする。

b) 設計図書により、同等品以上の使用が認められている材料については、その使用する材料が同等品以上であることを証明する資料を契約担当官等に提出し、入札前までに事前に承認を受け使用するものとする。

2. 2 品質管理

設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行うものとする。

2. 3 作業時間

工事の作業時間は、原則として当基地の課業時間内とする。ただし、作業の都合上時間外及び夜間作業を実施する場合は、あらかじめ監督官の承認を得なければならない。

2. 4 清掃後片付け

作業終了に際しては、作業に関連する部分の後片付け及び清掃を十分に行うこと。

3. 品質保証

3. 1 監督、検査

請負者等は、次の検査を受けるものとする。

検査項目	検査内容	検査時期
材料検査	品質、寸法、規格、数量等（材料検査に伴う試験含む。）	材料搬入時
施工検査	監督官の指示した工程の施工を完了した時の各種検査	工程完了時
工事検査	設計図書等に示した工事の完成確認（外観、数量、その他）	完成時
技術検査	施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえ	随時

4. 提出書類及び設計図書の管理

4. 1 提出書類

次表に指示するものを監督官に提出するものとする。

名称	提出先	部数	提出時期	備考	名称	提出先	部数	提出時期	備考
着手届	監督官	3部	契約後速やかに	書式22 ^{a)}	納品書	監督官	1部	その都度速やかに	様式適宜
工程表	監督官	1部	契約後速やかに	様式適宜	下請負承認申請書	契約担当官等	2部	必要の都度速やかに	付表2
施工計画書	監督官	1部	工事着手前までに	様式適宜	撤去品（発生材）調書	監督官	6部	発生後速やかに	書式23 ^{a)}
承認図	監督官	1部	工事着手前までに	様式適宜	調査結果報告書	監督官	1部	その都度速やかに	様式適宜
講習修了書の写し	監督官	1部	工事着手前までに	様式適宜	工事写真	監督官	1部	竣工後速やかに	様式適宜
施工体制台帳の写し	監督官	1部	その都度速やかに	様式適宜	終了届検査官		3部	役務終了後速やかに	書式22 ^{a)}
現場閉所実績報告書	監督官	1部	翌月10日までに又は監督官が指定する日までに	付表1					
注 ^{a)} 海上自衛隊契約規則に実施する細部（海幕経第183号。27. 3. 18）									

4. 2 入門手続き等

本工事の履行に伴い、作業員等の入門手続き等については官側の指示に従い実施し、作業着手時期については、事前に作業日程を官側とよく調整するものとする。

4. 3 設計図書の管理

設計図書は、複写した物を含め工事終了後速やかに返却しなければならない。

a) 請負者は、工事の一部を第三者に委託し、又は請け負わせようとするときは、当該下請契約書等において、設計図書等の適切な管理に関する規定を明確にしておくものとする。この場合、受託者の氏名名称その他必要な事項を書面により整備しておくものとする。

b) 請負者は、施工図の作成を第三者に委託し又は請け負わせたときにおいて、当該相手方の用件が終了次第、速やかに設計図書等を返却させ、適切に管理しなければならない。

c) 設計図書は、工事施工等の目的以外に第三者に対して貸与、複写、または閲覧させてはならない。

5. 安全管理

5. 1 安全

工事の施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。

a) 施工中の安全に関しては、建設工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。

b) 工事の施工に当たっては、工事箇所及び周辺にある地上並びに地下の既設構造物、既設埋設管等に対して、支障をきたさないような施工方法を定める。ただし、これにより難しい場合は、監督官と協議する。

6. その他

6. 1 疑義の協議

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の収まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難な又は不都合な場合が生じたときは、契約担当者等と協議する。特に、設計図書に明示されていない事項、設計変更に関わる事項、関係機関との協議に関わる事項、天災その他不可抗力に関わる事項については、自主的な判断に基づき施工してはならない。

6. 2 官給品

なし。

6. 3 発生材

産業廃棄物等は、再生資源化の積極的活用に努め分別を確実に行之、産業廃棄物の処理に当たっては、監督官の承認を得て、関係法令等に基づき処理するものとする。

6. 4 その他

a) 改修工事に伴い、毀損した部分は、在来にならい納まり良く補修する。

b) 既存施設、道路等の保護には十分注意し、万一施工場所以外に損傷等を与えた場合は、請負者の責任において、速やかに復旧するものとする。

c) 工事施工のため必要な関係官公庁その他に対する諸手続きは、原則として請負者の責任において実施するものとする。

d) 基地内において、当該基地の規則等を遵守すること。また、工事実施関係地区以外の写真撮影は禁止する。

e) 請負者は、各作業員が社会保険に加入していることがわかる書類を官側に提示する。適切な保険に加入していることを確認できない作業員については、特段の理由がない限り現場入場を認めない。

6. 5 電気、水等の使用

工事に使用する電気、水等は原則として請負者側で用意するものとする。

6. 6 保全

本工事に従事する者は日本国籍を有し、日本国憲法及びその下に成立した政府を暴力等で破壊することを主張する団体等、その他を結成し又は加入若しくは協力していないこと。また、請負者は、本工事全般において守秘義務を負うものとし、本工事で知り得た官施設及び装備品等に関する一切の情報を、第三者に漏洩してはならない。これは工事終了後においても同様とする。

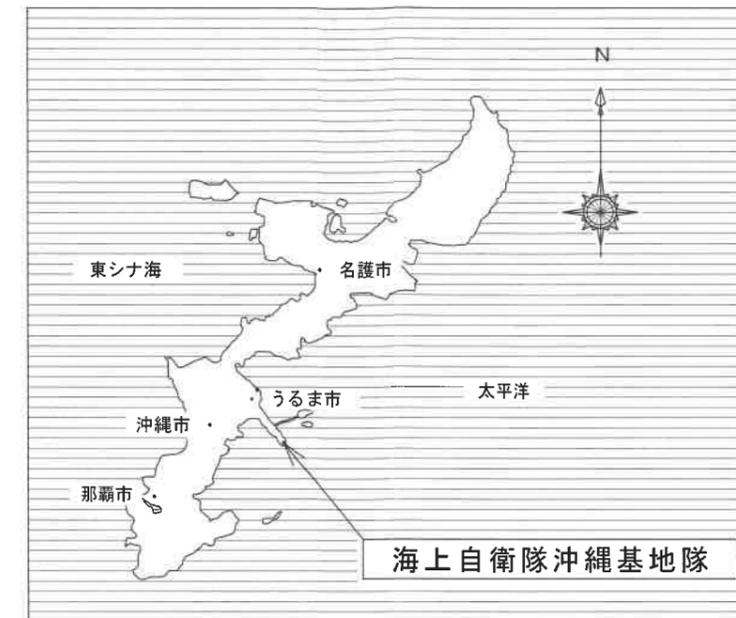
「工事関係者以外不許複製」

件名	補給科倉庫雨樋その他補修		
図名	一般仕様書	番号	1 / 4
海上自衛隊沖縄基地隊			

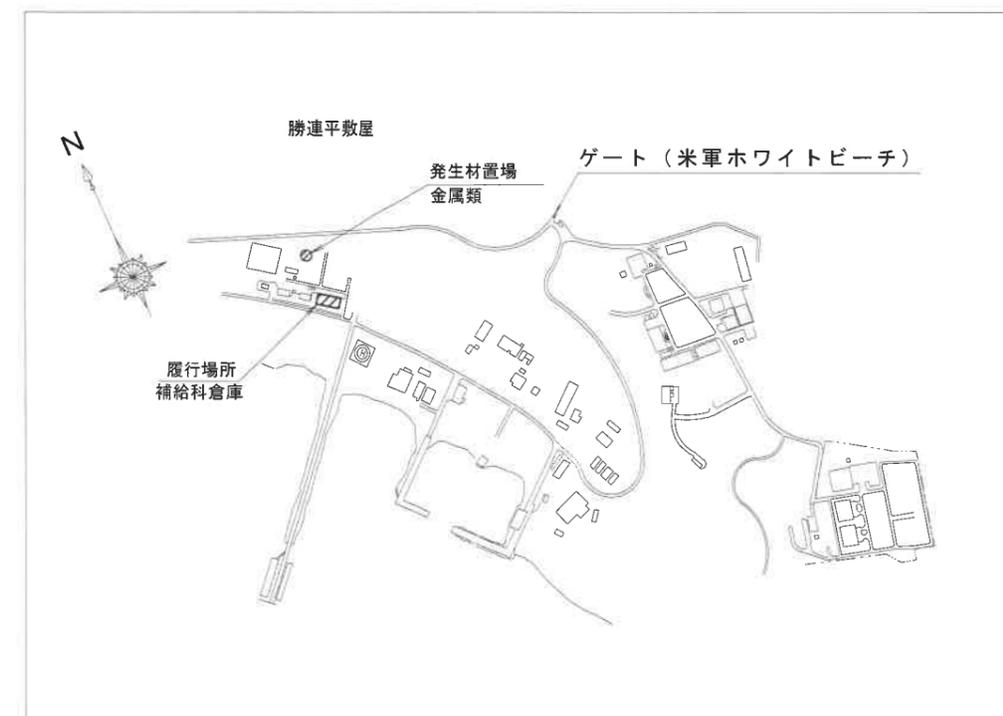
特記仕様書

1 工事概要表

番号	項目	名称	単位	数量	備考
1	仮設工事	① 枠組本足場	m ²	330	手すり先行方式：600枠
		② 災害防止	m ²	341	シート・ネット類
		③ 内部足場	m ²	40.8	
		④ 養生	m ²	40.8	
		⑤ 墨出し	m ²	40.8	
		⑥ 整理清掃後片付け	m ²	81.6	
		⑦ 足場運搬	日	2	
2	撤去工事	① 堅樋・補助材料共	m	55.8	硬質塩ビφ75・φ100
		② 軒樋・補助材料共	m	6.8	硬質塩ビ角樋 210×125
		③ 石膏セメント板（廻り縁共）	m ²	40.8	厚5mm
		④ 軽量鉄骨天井下地	m ²	40.8	屋内19形
		⑤ パッケージ形空気調和機	台	1	冷房能力5.6kw以下・天井吊 再利用
		⑥ 蛍光灯	箇所	2	再利用
		⑦ 火災感知器	箇所	2	再利用
3	と い 工 事	① 堅樋・補助材料共	m	34.8	硬質塩ビφ75(VP屋外)
		② 堅樋・補助材料共	m	20.4	硬質塩ビφ100(VP屋外)
		③ 軒樋・補助材料共	m	6.8	硬質塩ビ既製品
4	軽量鉄骨下地工事	① 軽量鉄骨天井下地	m ²	40.8	屋内19形
5	内装ボード工事	① ケイ酸カルシウム板	m ²	40.8	厚6mm
6	木工事	① 廻り縁	m	25.6	25mm×30mm
7	塗装工事	① EP塗	m ²	40.8	B種（素地ごしらえB種共）
8	場外処分	① 場内処分（官側返納）	式	1	金属類
		② 場外処分（場外処分）	式	1	セメント板・堅樋・軒樋



案内図 NO SCALE



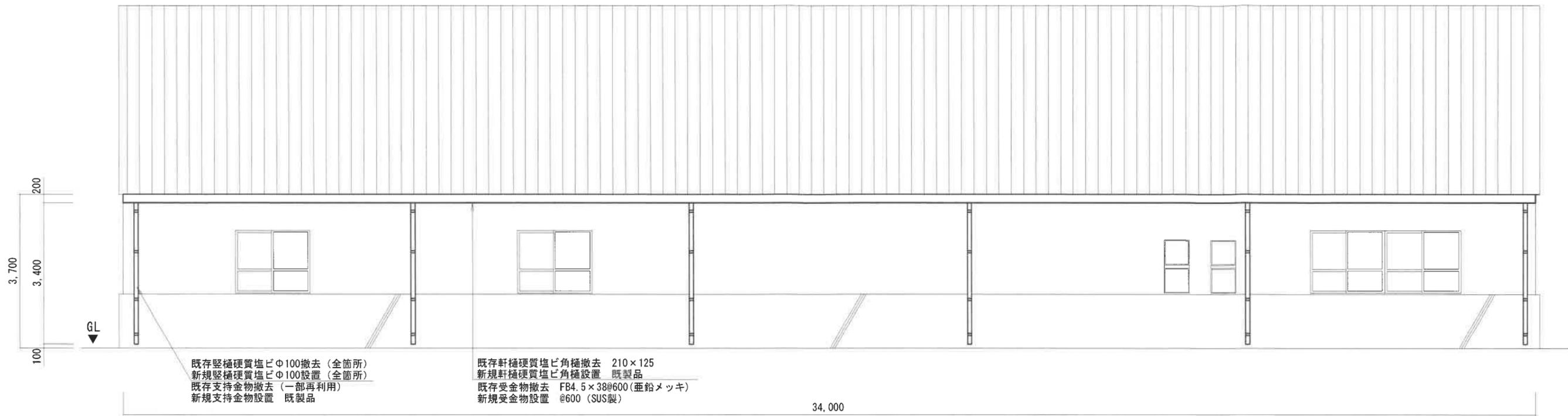
沖縄基地隊配置図 NO SCALE

2 特記事項

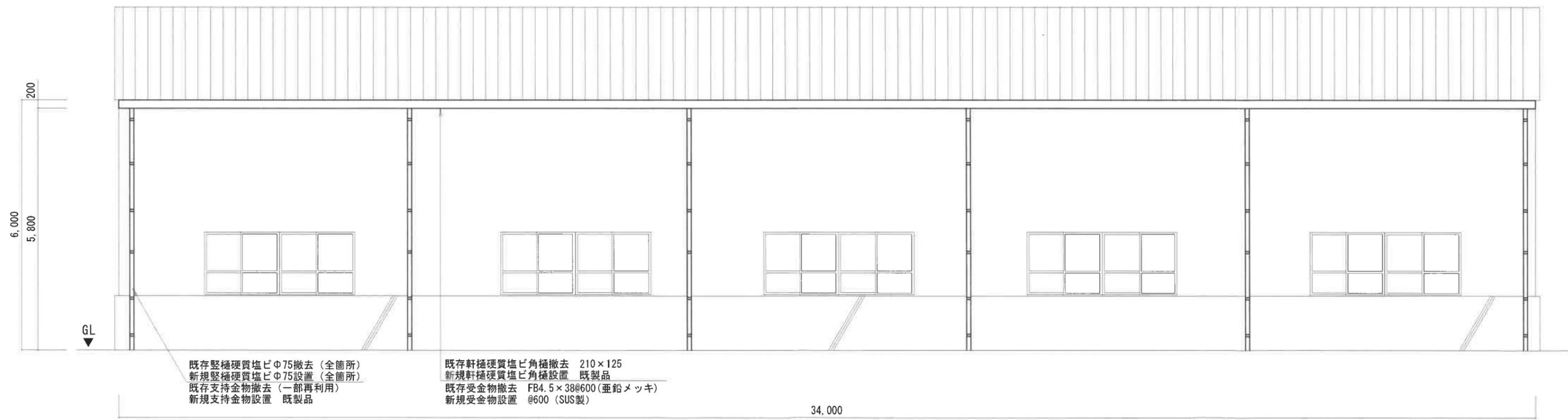
- 1 当該工事は週休2日制工事（現場閉所型）である。
- 2 受注者は、毎月末までに「現場閉所実績報告書」を作成し、翌月10日までに監督官に提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。
- 3 完成時、監督官が現場閉所実績報告書により現場施工期間内における現場閉所日数等を確認し、月単位の週休2日を達成できない場合は、（補正した）労務費等を請負代金額の変更により減額するものとする。
- 4 アスベスト調査を実施するものは、建築物石綿含有建材調査者講習修了者でなければならない。
- 5 施工期間中において、1日の作業終了後は使用資材等の整理整頓を行い、工事完成に際しては、当該工事に関連する部分の清掃及び後片付けを十分に行う。
- 6 詳細寸法については、現場合わせとする。
- 7 特記なき事項及び施工については、国土交通省大臣官房管庁営繕部監修公共建築改修標準仕様書（建築工事編）によるものとする。
- 8 施工場所の安全対策は、請負業者の責任において管理すること。
- 9 発生材について、金属類は官側へ返納し、発生材置き場まで運搬する。その他の発生材については、受注者側の責任において、関係法令等に基づき場外搬出処分とする。
- 10 本工事の施工に際し、事前に監督官と十分な調整を行い、施工期間中不具合事項が生じないよう連絡を密にするものとする。

「工事関係者以外不許複製」

件名	補給科倉庫雨樋その他補修		
図名	図示による	番号	2/4
海上自衛隊沖縄基地隊			



補給倉庫南立面図 S = 1 / 100

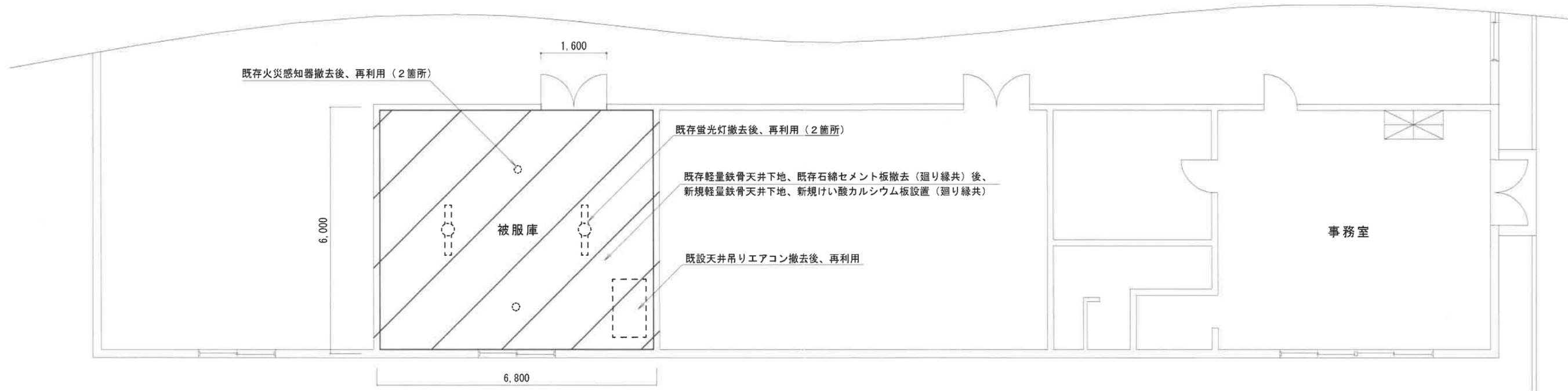


補給倉庫北立面図 S = 1 / 100

※細部の寸法については、すべて現場合わせとする。

「工事関係者以外不許複製」

件名	補給科倉庫雨樋その他補修		
図名	図示のとおり	番号	3 / 4
海上自衛隊沖縄基地隊			



補給倉庫平面図 S = 1 / 100

室名	天井 (施工前)	天井 (施工後)	廻り縁	高さ
被服庫	軽量鉄骨天井下地 野縁19形 石綿セメント板 厚5mm	軽量鉄骨天井下地 野縁19形 けい酸カルシウム板 厚6mm EP塗B種 (素地ごしらえB種共)	木製	3.0m

※細部寸法については、すべて現場合わせとする。

「工事関係者以外不許複製」

件名	補給科倉庫雨樋その他補修		
図名	図示の通り	番号	4 / 4
海上自衛隊沖繩基地隊			

付表2-下請負承認申請書

令和 年 月 日

(契約担当官等)

殿

住 所

商 社 名

代表者名

下 請 負 承 認 申 請 書

標記について、下記のとおり申請しますので承認をお願いします。

記

- 1 調 達 要 求 番 号 :
- 2 契 約 番 号 :
- 3 契 約 件 名 :
- 4 契 約 期 間 : 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
- 5 下請負内容及び業者名 : 下記のとおり

下 請 負 内 容	業 者 名

調達要求元監督官	確認印		参考	
----------	-----	--	----	--

上記申請を (承認 ・ 不承認) とする。

令和 年 月 日

(契約担当官等)